

6年間のキャリア教育を通して 幅広い進路選択をすることができる力を身に付ける！

上川高等学校

卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討し、自分を生かせる生き方や進路を現実的に考え、将来設計、進路希望の実現を目指して自己課題の解決に取り組むことができる。

現実的探索・試行と社会的移行準備の時期

- ・自己理解の深化と自己受容
- ・選択基準としての職業観・勤労観の確立
- ・将来設計の立案と社会的移行の準備

高2後期から高3

- ・他者の価値観や個性を理解し、自分との差異を認めつつ受容する。
- ・卒業後の進路について多面的・多角的に情報を集め、検討する。
- ・自分の能力・適性を的確に判断し、自らの将来設計に基づいて、高校卒業後の進路について決定する。
- ・進路実現のために今取り組むべき課題は何かを考え、実行に移す。
- ・理想と現実との葛藤や経験等を通し、様々な困難を克服するスキルを身に付ける。

高1年から高2前期

- ・新しい環境に適応するとともに他者との望ましい人間関係を構築する。
- ・新たな環境の中で自らの役割を自覚し、積極的に役割を果たす。
- ・学習活動を通して自らの勤労観、職業観について価値観の形成を図る。
- ・様々な情報を収集し、それに基づいて自分の将来について暫定的に決定する。
- ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、検討する。
- ・将来設計を立案し、今取り組むべき学習や活動を理解し実行に移す。

上川中学校

目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考え、進路選択と（暫定的な）将来設計を立てることができる。

現実的な探索と暫定的選択の時期

- ・肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- ・興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成
- ・進路計画の立案と暫定的選択
- ・生き方や進路に関する現実的探索

3年生

- ・自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。
- ・社会の一員としての参加には義務と責任が伴うことを理解する。
- ・将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服するための努力に向かう。

2年生

- ・自分の言動が他者に及ぼす影響について理解する。
- ・社会の一員としての自覚が芽生えたとともに、社会や大人を客観的にとらえる。
- ・将来への夢を達成する上での現実の問題に直面し、模索する。

1年生

- ・自分の良さや個性がわかる。
- ・自己と他者の違いに気づき、尊重しようとする。
- ・集団の一員としての役割を理解し、それを果たそうとする。
- ・将来に対する漠然とした夢やあこがれを抱く。